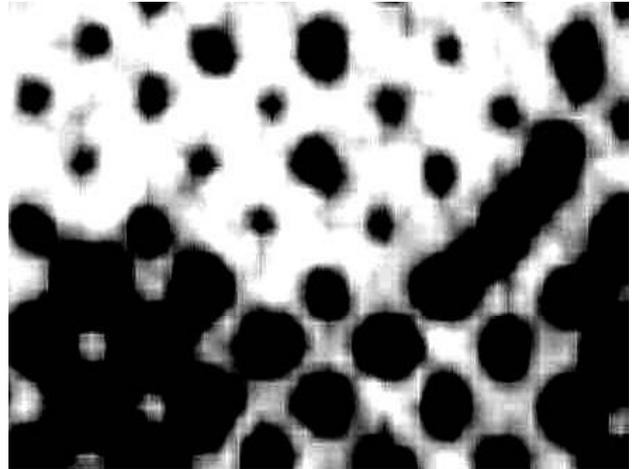
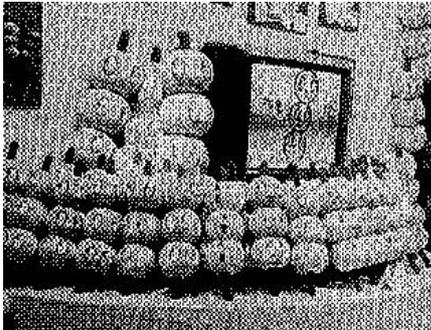


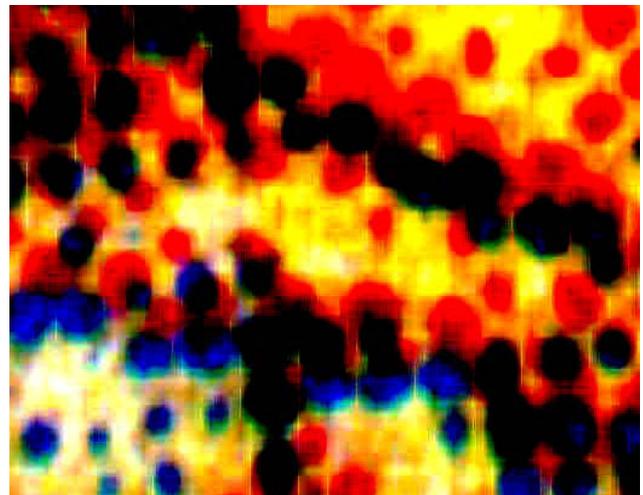
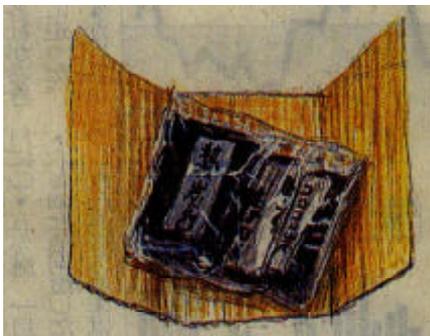
写真印刷の仕組み = 小さい点の大小で表示

写真の印刷は小さい点の大小で表現されます。下は新聞写真ですが、右側は部分的に拡大したものです。スキャナーで取り込んだので、点の周辺ににじみがありますが、実際はありません。

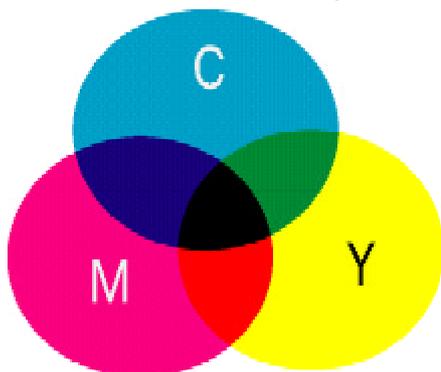
規則正しく並んだ点の大小が印刷されています。この点の密度が高いほど綺麗な写真になります。これは1インチに何本の線が有るかで表わされ、新聞の場合80線、上質紙は100～133線、アート紙では150～175線と言われますが、数百線というのもあり、普通の写真以上の品質です



カラー印刷も、点の大小に変わりはありませんが、C(青)、M(紅)、Y(黄)、K(黒)の4色が使われています。右の拡大写真に見ることができます。また、各色の並び方がそれぞれ特定の角度に決まっておりモアレという干渉(ザラツキ)を防いでいます。



カラー印刷の仕組みは色を混ぜていくと黒くなる加色法で(色の3原色)です。C(青)、M(紅)、Y(黄)、K(黒)で下のような関係になっています。



テレビなどは、逆に重ねていくと白くなる減色法(光の3原色)で、R(赤)、G(緑)、B(青)です

